

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	04_宮城県
市区町村名	04213栗原市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
栗原市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	体験活動の充実や地域との交流の促進、教員の業務軽減の観点から、地域コーディネーター等地域人材の配置について、市内の学校から要望があるが、人材の発掘や活動の継続が課題となっている。	希望する市内の学校に地域人材（地域コーディネーター等）を配置し、総合の時間や体験活動の調整を行う。 市内5ブロックに、地域の人材や活動に精通する地域人材を配置する。	希望する市内の学校に地域人材（地域コーディネーター等）を配置し、総合の時間や体験活動の調整。 市内5ブロックに、地域の人材や活動に精通する地域人材を配置。	体験活動等を行うにあたり、教員が外部との調整にかかる業務負担が減少する。	年間の地域コーディネーター等の活動時間	113	時間	113	143	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 希望する市内の学校に地域コーディネーターを配置し、体験活動等を行う際の教員が外部との調整にかかる業務負担が減少した。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。